

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その1)

計画体系コード	5-1-1	事業名	(仮称)SAPPOROアート&コミュニティセンター整備事業					
担当	観光文化局文化市民文化課 犬飼 211-2261							
全体計画								
事業内容	<p>平成16年3月に閉校となった曙小学校跡施設を「文化と芸術の薫りが街を元気にする拠点施設」というコンセプトのもと、「(仮称)あけぼのアート&コミュニティセンター」として再整備する。当該施設は、「さっぽろの文化芸術の時代を拓く拠点」としての性格に加え、「文化芸術が地域力を高める拠点」、「地域の子どもや高齢者が暮らし続けられるまちの拠点」としての性格を併せ持つものとする。</p> <p>『曙小学校跡施設概要』 所在地・・・札幌市中央区南11条西9丁目 敷地面積・・・6,783㎡ 構造・規模・・・校舎棟RC造3階建4,179㎡、屋内運動場S造942㎡ 完成年月・・・昭和26年(1951年)10月 札幌市で最古のRC造校舎。耐震強度の問題などから、校舎西棟は解体し、校舎南棟及び屋内運動場を改修して再利用する。</p>			<年度別の事業内容>				
				19年度	曙小学校跡施設の活用計画の策定			
			20年度	西棟は解体設計ののち解体工事 南棟・体育館は各種調査や改修設計 管理運営団体の募集要項の素案策定 管理運営団体の選考委員会の設置 南棟・体育館の改修工事 管理運営団体決定 利用団体決定 ほか				
			21年度	施設オープン(オープニングセレモニー開催) ほか				
事業内容・量・場所・規模・件数等	平成19年度事業内容(決算)			平成20年度事業内容(予算)				
	<p>地域連合町内会代表、あけぼの開明舎 及び本市関係職員からなる「曙小学校跡地管理運営連絡調整会議」を、平成19年5月と7月に2回開催し、地域との協議を進め、同年11月に「旧曙小学校跡施設活用計画」を策定した。</p> <p>あけぼの開明舎(「曙小学校閉校後の利用を考える会」から改称)・・・平成16年11月から平成19年3月までの間、旧曙小学校跡施設を暫定的に管理運営していた任意団体。曙地区の地域活性化を図ることを目的に活動している。</p>			<p>西棟の解体設計及び解体工事 南棟及び体育館の各種調査・改修設計 管理運営団体の募集要項の素案策定 管理運営団体の選考委員会の設置 ほか</p>				
達成目標の状況								
項 目			18年度末 (現 状)	19年度末 (実 績)	20年度末 (予 定)	21年度末 (予 定)	22年度末 (予 定)	22年度末 (目 標)
文化芸術団体と地域との交流イベント数			1回	-	-	-	4回	4回
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)								
<p>市民との連携、市民参加 平成16年度には、地域代表、公募委員及び有識者からなる「曙小学校跡地活用検討会議」を開催し、活用計画のベースとなる提言書の提出を受けた。また、平成17年度から平成19年度にかけて、地域の代表、暫定的な管理運営団体及び本市関係部局の職員からなる「曙小学校跡地管理運営連絡調整会議」を継続的に開催し、地域意見の集約に努めた。</p> <p>企業等との連携・協働 [資金協力] [人材協力] [情報協力] [その他の協力] 市民・企業等が参加しやすい環境づくり 平成20年度から21年度にかけて、当該施設の管理運営を行う団体を、選定委員会の選定を経て決定する。 その後は、個別の利用団体を広く募集し、活動の場を提供するとともに、文化と地域を融合する新たな拠点として、市民の皆様はもとより、企業にもご活用いただく。</p>								

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2) (単位:千円)

計画体系コード	5-1-1		事業名	(仮称)SAPPOROアート&コミュニティセンター整備事業		
評価(成果)			課題			
当初計画どおり、平成19年度中に「旧曙小学校跡施設活用計画」を策定した。			「旧曙小学校跡地施設活用計画」にのっとり、6つの基本理念の実現に向けた解体・改修の進行、管理運営団体の募集要項の素案策定、管理運営団体選定のための委員会の設置などを適切に行う必要がある。			
今後の事業の予定・方向						
平成21年度秋の施設オープンに向け、工事の進捗状況の把握、管理運営団体の募集要項の策定、施設の管理方法等の決定などを進めていく。						
事業費の推移						
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計
計画	事業費	2,152	321,848	0	0	324,000
	財源内訳					
	国・道支出金	0	127,822	0	0	127,822
	市債	0	0	0	0	0
予算	事業費	2,152	54,700	-	-	56,852
	財源内訳					
	国・道支出金	0	21,880			21,880
	市債	0	0			0
実績	事業費	1,262	-	-	-	1,262
	財源内訳					
	国・道支出金	0				0
	市債	0				0
事業費の進捗率		(19年度実績事業費 + 20年度予算事業費) / (計画事業費)				17.3%
計画との差異(予算・事業内容・規模・時期等)						
(全体)						
[19年度] 活用計画の策定にあたり、当初想定した事業委託を行わず経費縮減に努めた。						
[20年度] 当初計画においては21年度当初のオープンを予定していたが、建築基準法改正の影響により、設計期間が長期化したことから、6ヶ月程度、工期が延びている。						